

# 岡山県の母子保健の現状

結婚や子育てに夢が抱け 子どもを持ちたい人が  
安心して子どもを持ち 子育てを楽しむことができる  
地域・社会の実現を目指して

## 新世紀 おかやま母子保健計画 — 4つの重点課題— (2002年～2010年)

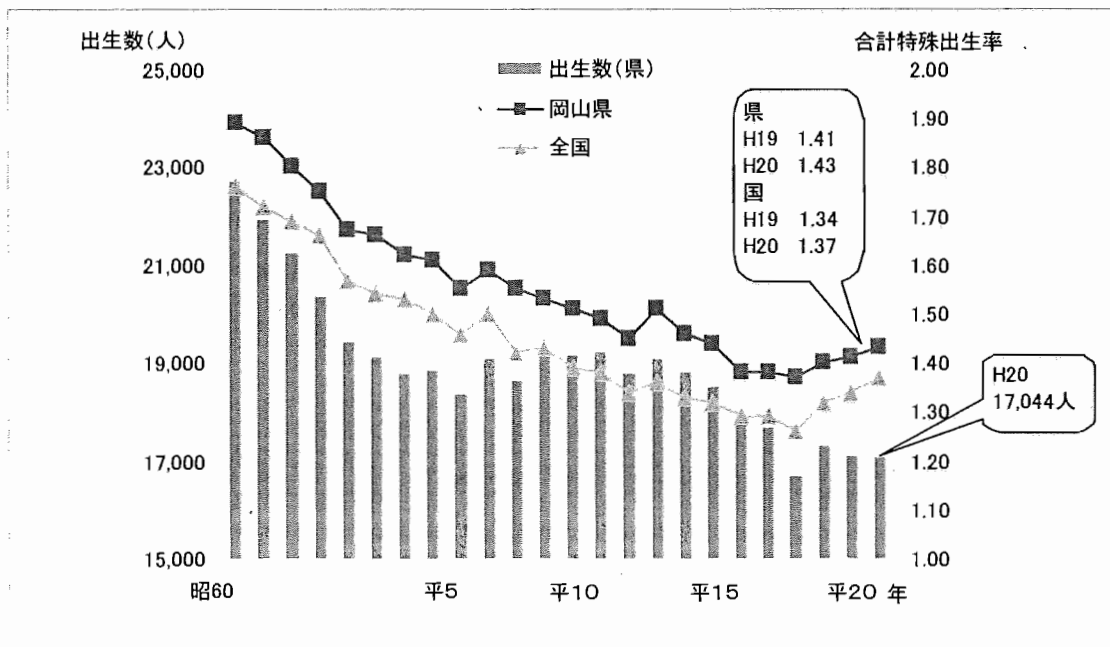
- 課題 1 妊娠・出産の安全性と快適さの確保など生涯を通じた女性の健康支援
- 課題 2 子どもの心とからだの健やかな発達のための支援
- 課題 3 安心できる医療・療育体制の整備
- 課題 4 思春期の保健対策の強化と健康教育の推進

### 1 母子保健をとりまく状況

#### 1) 出生数と合計特殊出生率の推移

合計特殊出生率

15～49歳までの女性の年齢別出生率を合計したもの



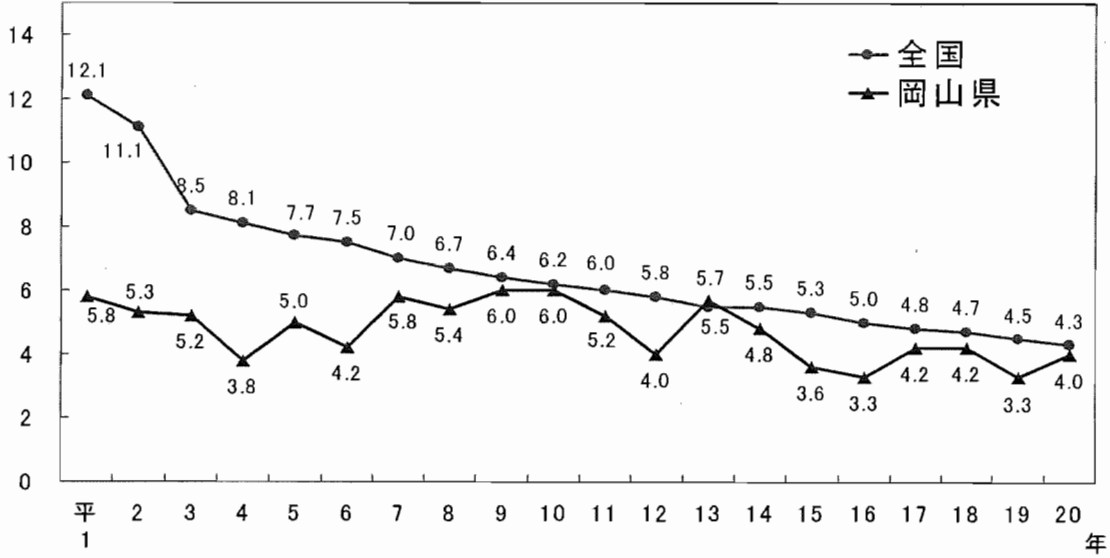
<資料：厚生労働省「人口動態統計」

## 2) 周産期死亡率の推移

周産期死亡率（出産千対）：

妊娠満22週以降の死産＋早期新生児（生後7日未満）死亡

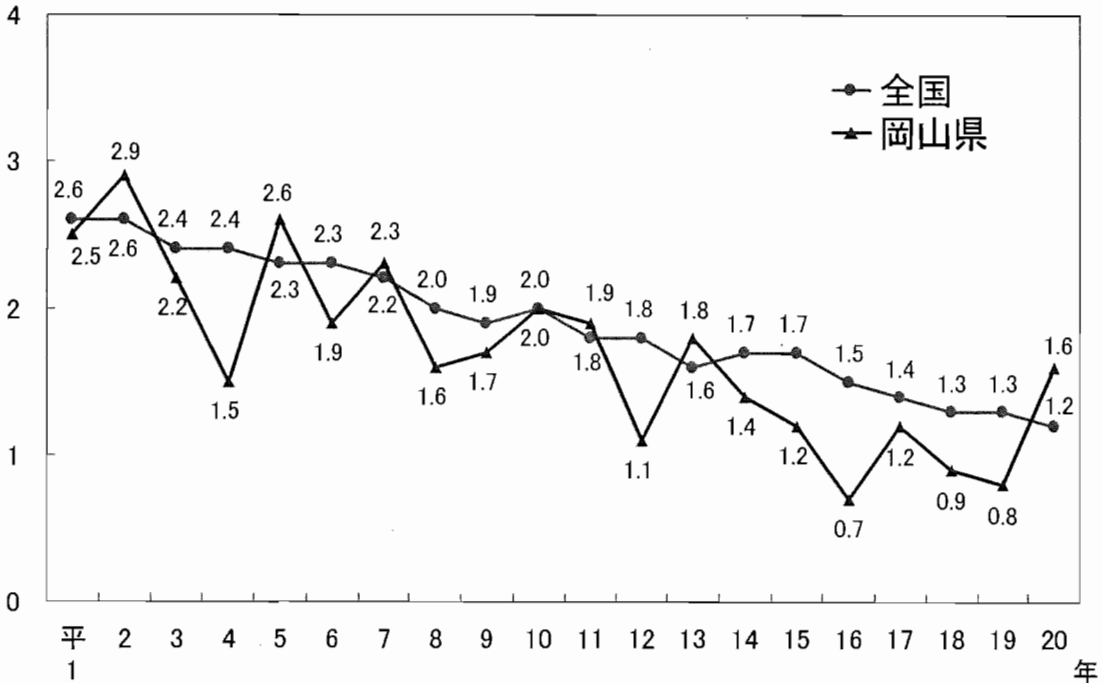
出産千対



## 3) 新生児死亡率の推移

新生児死亡率（出生千対）：生後28日未満の死亡

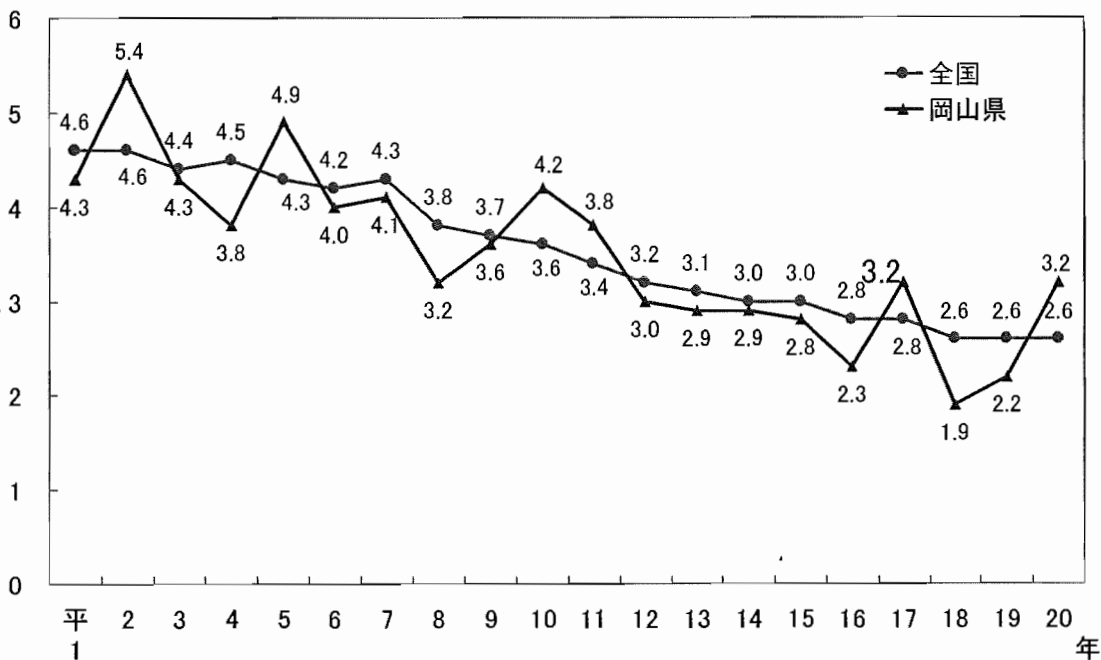
出生千対



#### 4) 乳児死亡率の推移

乳児死亡率（出生千対）：1歳未満の死亡

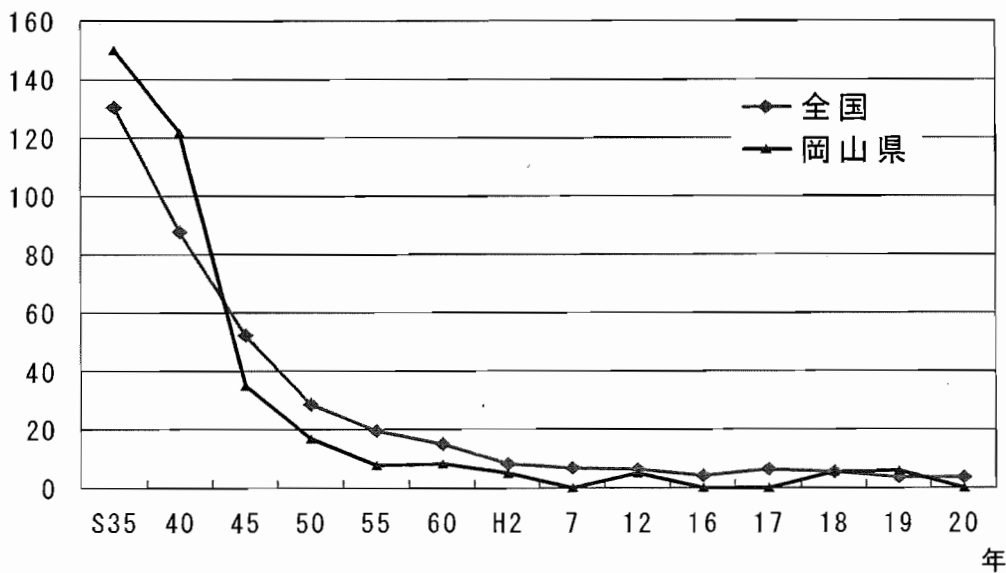
出生千対



#### 5) 妊産婦死亡率の推移

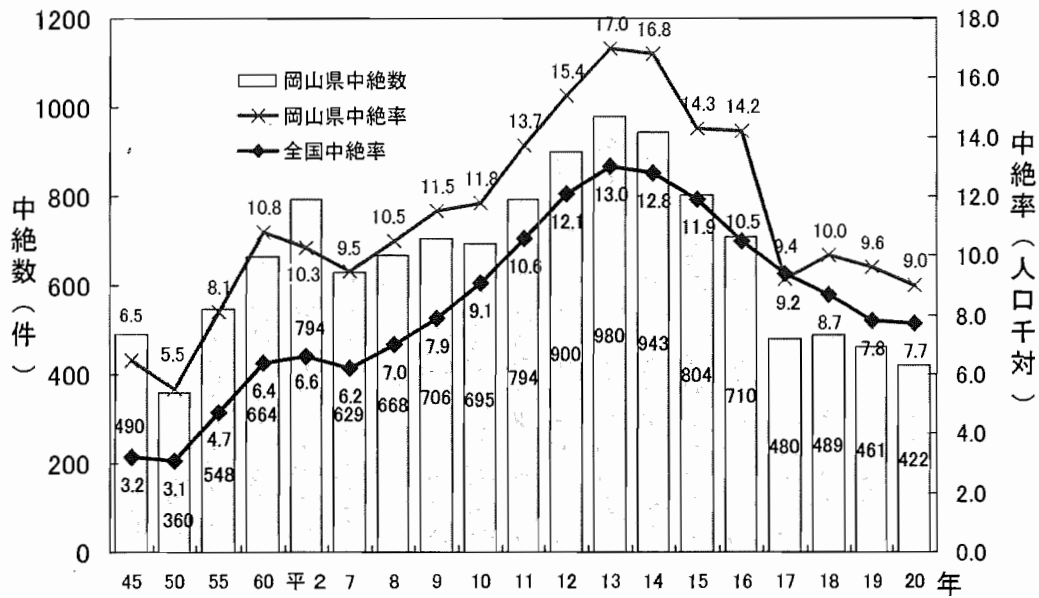
妊産婦死亡率（出生10万対）：  
妊娠中又は妊娠終了後満42日未満の女性の死亡

(出生10万対)

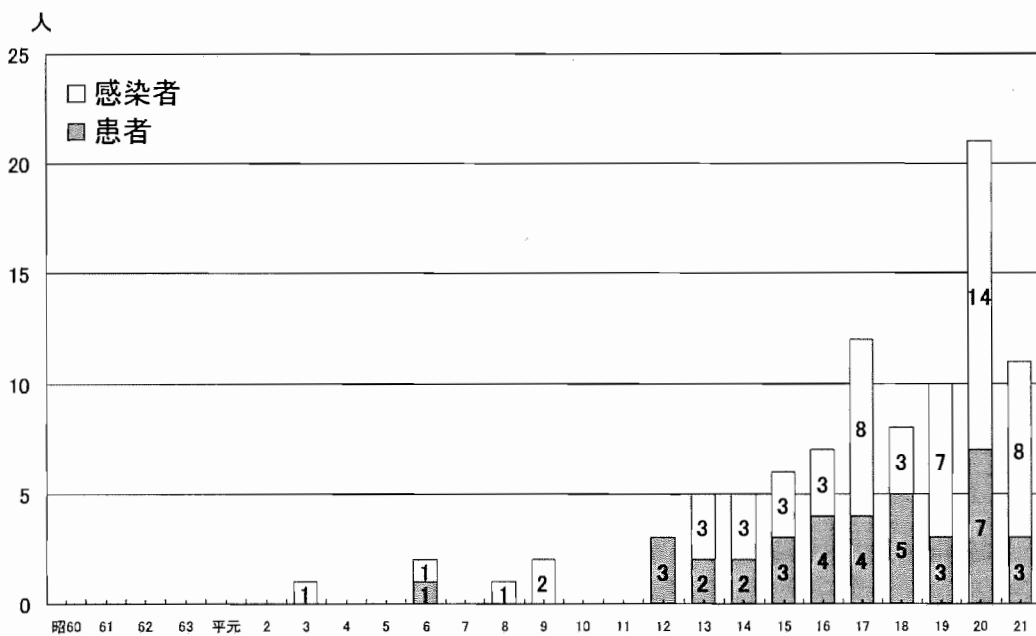


(※平成18年、19年いずれも各1人、20年は0人)

6) 10代の人工妊娠中絶数・率の推移



7) HIV感染者及びAIDS患者届出数の推移 (岡山県)



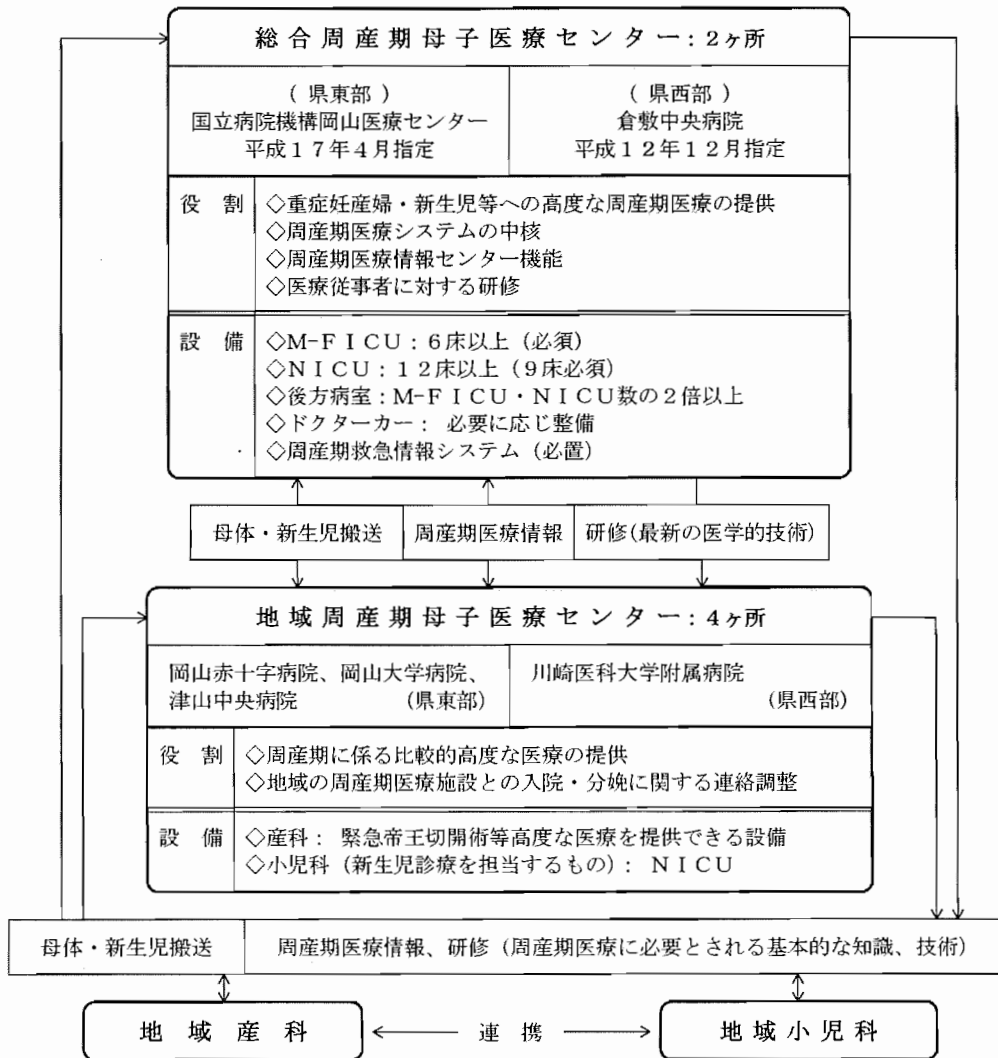
※平成21年は11月20日現在

## 2 周産期医療体制について

安全な妊娠・出産に向け、若年妊婦、高齢初妊婦、多胎妊娠等のリスクの高い母体・新生児に対し、高度な周産期医療を24時間体制で提供する2ヶ所の総合周産期母子医療センターと、4ヶ所の地域周産期母子医療センターが、地域の産科・小児科医療機関と連携を図っている。

### ○周産期医療：

妊娠満22週から生後1週間未満の母体・胎児・新生児に対する医療



### ◇ 総合・地域周産期母子医療センターの利用状況 (平成20年)

	病床数 (ICU)	年間利用 実人員	搬送数	搬送元							
				総合周産期センター	地域周産期センター	病院	診療所	助産所	他県	その他・不明	
総合	妊産婦	12	214	132	1	9	27	67	1	27	0
	新生児	33	637	161	0	11	63	65	3	18	1
地域	妊産婦	2	49	24	0	0	23	0	1	0	0
	新生児	23	328	38	2	0	15	18	0	3	0

平成20年度 岡山県周産期医療協議会資料